

第 14 回進化計算学会研究会プログラム

2018 年 3 月 5 日(月)

13:30~15:30：口頭セッション 1 (3 件×40 分)

司会：佐藤寛之（電気通信大学）

O1-1 交叉により粒子の多様性を導入する粒子フィルタ

○中村仁之，小野功（東京工業大学）

コメンテータ：高木英行（九州大学），畠中利治(大阪大学)

O1-2 Global-best Brain Storm Optimization によるスマートコミュニティの全体最適化

○佐藤繭子，福山良和（明治大学大学院）

コメンテータ：串田淳一(広島市立大学)，立川智章（東京理科大学）

O1-3 事前調節の不要な政策最適化: IBP-CMA の提案と評価

○大橋 響太郎，藤吉 夏生，秋本 洋平（信州大学）

コメンテータ：大西圭（九州工業大学），白川真一（横浜国立大学）

15:50~17:30：ポスターセッション 1 （フラッシュトーク 2 分/件） 司会：宮川みなみ（法政大学・日本学術振興会）

P1-1 GPU を用いた分散粒子群最適化法の一提案

○高畠和輝，上水流歩望，佐藤裕二（法政大学）

P1-2 FS-CMA-ES を用いた半導体コンパクトモデルのパラメータ合わせ込み

○佐多 恵悟，嶺脇 隆邦（株式会社リコー）

P1-3 PSO に基づく動的な最大電力点追従の回路シミュレーション

○安川新，斎藤利通（法政大学）

P1-4 テスト問題を用いた NSGA-II における交叉オペレータが進化に与える影響

○関根将弘，丸山翔平，立川智章（東京理科大学）

P1-5 ベジエ単体を用いたパレートフロントの超曲面近似

○小林健，濱田直希（理化学研究所／富士通研究所），酒井彬（理化学研究所／富士通アドバンスドテクノロジー），吉田裕之(理化学研究所／富士通)，三内顕義，田中章詞（理化学研究所），坂内健一(理化学研究所／慶応義塾大学)，杉山将（理化学研究所／東京大学）

P1-6 初学者に分かりやすい進化型計算による解の改良推移の検討:消費借入計画問題の場合

○折登由希子（広島大学），加島智子（近畿大学）

P1-7 大規模なバイナリー2 次計画問題に対する Breakout Local Search

○加藤美奈，外山史，森博志，東海林健二(宇都宮大学)

P1-8 難易度による制約分割を用いた段階的制約充足法の適用に関する検討

○丹羽健斗，吉川大弘(名古屋大学)

18:00~20:00：懇親会

場所：小金井キャンパス食堂ホール

会費：一般 4,000 円，学生 2,500 円

2018 年 3 月 6 日(火)

09:20~10:00 : 口頭セッション 2(1 件×40 分)

司会：佐藤裕二（法政大学）

O2-1 ブラックボックス最適化のための不変性を考慮した線形制約対処法の提案

○阪本 直気, 秋本 洋平（信州大学）

コメンテータ：小野功（東京工業大学）, 吉川大弘（名古屋大学）

10:20~12:00 : ポスターセッション 2（フラッシュトーク 2 分/件）

司会：原田智広（立命館大学）

P2-1 Many-Objective Resource Optimization with NSGA-III for Scientific Workflow Execution in the Cloud

○Phyo Thandar Thant (Hokkaido University), Courtney Powell (Hokkaido University),
Martin Schlueter (Hokkaido University), Masaharu Munetomo (Hokkaido University)

P2-2 実問題における多様な満足解獲得のための探索手法に関する検討

○丸山 功貴, 吉川 大弘（名古屋大学）

P2-3 A Division Based Bare Bones Particle Swarm Optimization Algorithm

○Jia Guo and Yuji Sato (Hosei University)

P2-4 個体間距離を考慮したマイグレーションを備えた分散 NSGA-II

○後藤悠（法政大学）, 佐藤未来子（東海大学）,

宮川みなみ（法政大学, 日本学術振興会 特別研究員 PD）, 佐藤裕二（法政大学）

P2-5 ACO を用いたクラスタリングにおけるパラメータの最適化

○中山貴幸, 水野一徳（拓殖大学）

P2-6 花火アルゴリズムへの偵察戦略導入

○余俊（九州大学）, 譚营（北京大学/九州大学）, 高木英行（九州大学）

P2-7 三角関数を利用した分割法による等式制約付き探索空間の無制約化

○折登由希子（広島大学）, 花田良子（関西大学）

P2-8 超大規模な最大多様性問題に対する初期近傍探索法の検討

○西垣陽平（宇都宮大学）, 外山史（宇都宮大学）, 森博志（宇都宮大学）, 東海林健二（宇都宮大学）

13:20~15:00 : ポスターセッション 3（フラッシュトーク 2 分/件）

司会：水野一徳（拓殖大学）

P3-1 大規模な 2 次分割問題に対する近傍探索効率化の検討

○佐々木悠哉, 星洸太, 外山史, 森博志, 東海林健二（宇都宮大学）

P3-2 収束性を強化した算術交叉 ABC

○横谷元（大阪大学）, 畠中利治（大阪大学大学院）

P3-3 複数車種の同時最適化問題に対する代替評価モデルを用いた進化計算手法

○大塚一路, 海段美紗希, 原田智広, ターウォンマツ・ラック（立命館大学）

P3-4 制約付き多目的最適化問題における実行不可能解を用いた指向性交配のための交叉法の提案

○比留間渉（法政大学）, 宮川みなみ（法政大学, 日本学術振興会 特別研究員 PD）,
佐藤裕二（法政大学）

P3-5 遺伝的プログラミングによる異種混合予測モデルの学習に関する基礎検討

○今別府建志（鹿児島大学大学院）, 福井健一（大阪大学産業科学研究所）,
小野智司（鹿児島大学大学院）

P3-6 スケールパラメータの自己適応学習機構を有する人工蜂コロニーアルゴリズム

○磯野 悠, 中野 秀洋, 宮内新（東京都市大学）

P3-7 解の進化を詳細に追跡可能な人間ベース進化計算実行システムの構築と評価

○藤本康輔, 大西圭（九州工業大学）, 吉川大弘（名古屋大学）

P3-8 自然進化戦略 CR-FM-NES の探索性能向上に関する研究

○加藤遊馬, 青木勇輔, 小野功（東京工業大学）